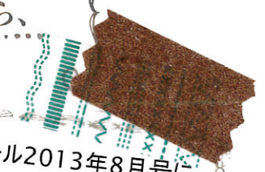
なぜか、惹きつけられた1軒の家。
呼び鈴を押して「どこで建てたんですか?」ときいたから、
今のお気に入りの我が家があります。



クルール2013年8月号に
常陸大宮市Kさんのお家が
掲載されました。

麻利 ママファミリー
Mari Mama Family
勝一（かついち）パパ、12歳の隼人（はやと）くん、7歳の萌絵（もえ）ちゃんの4人家族。

お気に入りポイント3

かわいいニッチのついた階段。手すりは、取り付けてから黒く塗る予定でしたが、「このままもいいね」と急遽シルバーのままに。

お気に入りポイント2

リビングは吹き抜けに。子どもたちは、2階からママを呼んだり、1階のテレビを見たり（！）もするそう。家族のコミュニケーションに一役買っています。

お気に入りポイント1

キッチンは、ママがこだわった全面タイル張り。一番右のステンドグラスのペンダントライトは、「いつか家を建てたら」と買ってあった物。

ここもお気に入り

キッチンと統一した、タイル張りの洗面室。ミラーなど、ところどころにパステルカラーを差すのが麻利ママ流。

萌絵ちゃんの部屋。女の子らしい色使いとこだわりにあふれた、夢見る空間です。

アンティークのドアを、深い緑色に塗りました。シャンデリアやステンドグラスも、麻利ママのお気に入り。

家族でつくり上げた庭も、かわいらしい外観に調和しています。「子どもと一緒に、積み木感覚でブロックを並べました」。

どこもかしこも気に入っているところばかり。この家に暮らしたから、
古くなったり汚れたりするのも「味でいいな」と感じられるようになりました。

ママの出した希望は、「雑貨屋さんみたいな家」

家を建てることになって、いろいろと情報を集め、ある住宅会社に決めようとしていたんです。でも、ふと「本当にここでいいのかな?」と思ってしまった。そんな時、夫婦で住宅街をふらっと歩いていたら、1軒の家が目について。「この家だ!」とビビッと来たんです。後で思い返してみても、どうしてその家が目についたのかよくわからず、「運命」としか言いようがないんですが。それで、何と私はその場で呼び鈴を押し、「どこで建てたんですか?」と質問。今思えば、すごいですよね（笑）。その家の方は快く教えてくれ、エフリッジホームのパンフレットをくれました。それが、エフリッジとの出会いです。

私の出した希望は「雑貨屋さんみたいにしたい」ということ。もともと雑貨やアンティークが好きで、家を建てたら飾りたい、と大事に段ボールで取ってあったんです。そんな思い出深い雑貨たちを飾る場所もつくってもらい、用意してあった照明も取り付けてもらいました。ダイニングに腰板を張ったり、壁を塗ったりは自分たちで。やったことはなかったんですが、エフリッジさんからの提案でやってみたら、自分好みの色が出せたり、とてもいい思い出になる手型をつけたり、とてもいい思い出になりました。やってよかったですね。

家を建ててからは、パパも私も古い物の良さがもっとわかるようになりました。使っていくうちに汚れてくるけど、それも味でいい、と感じられるように。塗り壁のおかげも大きいのかも。これからも経年変化を楽しみたいですね。

たくさんの子育て中のママ、パパからうれしいメッセージがたくさん届いています！

里枝ママファミリーのお家
家族みんなのアトリエで、ギャラリーで、作品です。

恵利子ママファミリーのお家
子どもの喜ぶ顔が見たいから♪

日立市 ＊ Hさんのお家
家族と一緒に成長していける♪

F Ridge Home
エフリッジホーム株式会社　茨城県鉾田市柏熊457-4
TEL:0291-32-3139　FAX:0291-32-2843
http://www.tomine.co.jp/　エフリッジホーム　検索

星さん

資料請求
エフリッジホームのすべてがわかるHow to bookと作品集DVDを差し上げます。